

## 第 3 回検討会議 18.12.20

県立高校の在り方に係る県議会での質問及び県教育委員会に対する要望について

(説明内容)

県議会における質問や、各団体から教育長あてに提出された要望書のうち、高等学校グランドデザインに係わる事項について、その概要を、ご説明申し上げます。

まず 11月28日第248回定例会の一般質問において、「本県工業高校の学科について、原子力エネルギー関連産業などに対応した新しい学科を設置する考えはないか」という趣旨の質問がありました。

これについては、「現在、有識者により構成する『高等学校グランドデザイン会議』に対して、平成21年度以降の本県高校教育の在り方を諮問しており、その中で新しい学科の必要性、可能性について検討いただいているところです」とお答えしております。

8月21日、おいらせ町長及び町議会議長から、「町には介護福祉関連施設が充実しており、また、今後、介護を必要とする者の増加が予想され、それに伴い、介護関連施設従事者の必要性が高まる見通しであることから、百石高校に介護福祉科を新設して欲しい。」という趣旨の要望書が提出されました。

また、11月21日、むつ商工会議所から、「下北半島に原子力関連施設が集積する中で、その施設へ、地元就職を希望する生徒の願いを叶えることは自分たちの使命である。原子力に係わる総合教育を地元の高校生に施すことが雇用の場の確保につながると考えることから、むつ工業高校に原子力総合学科を新設して欲しい。」という趣旨の要望書が提出されました。

これら2つの要望につきましても、高等学校グランドデザイン会議にお伝えする旨話しており、また、同会議の意見を伺いながら教育委員会として検討していきたいと答えしております。

以上について、ただいま説明させていただいた事項を含め、今後の検討を進めてくださいますようお願い致します。